

こんにちは 新社会党

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊新社会

2016年4月号

発行所：新社会党 発行者：松枝佳宏
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10三辰工業ビル3階
TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963
振替 00140-0-149727 1カ月60円 1年600円 1部150円 41円

http://www.sinsyukai.or.jp E-mail:horibull@sinsyukai.or.jp

安倍政権一暴走から戦前回帰に逆走 安全保障関連法(戦争法)施行

安倍内閣は3月29日、安全保障関連法(戦争法)を施行しました。これで日本はいつでも、どこでも「戦争ができる国」へと質的大転換を遂げました。安倍政権の暴走は今や戦前回帰への逆走と化し、あのアジア・太平洋戦争の反省と、その中から生まれた日本国憲法を真っ向から否定するものです。新社会党はこの暴挙を満身の怒りをもって糾弾します。同時に、改めて明文改憲阻止、憲法を暮らしと政治に生かす闘いに全力を挙げます。

憲法違反 十憲法じゅうりん

安倍政権は2014年7月1日、歴代保守政権が不可能としてきた集団的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を閣議決定、2015年9月19日に戦争法の「採決」を強行、本年3月29日には戦争法を施行しました。この動きに対し圧倒的多くの憲法学者・研究者はもとより、全国各地で各界の様々な人たちが「解釈改憲反対、立憲主義を守れ」と反対の声をあげ、各地で行動を起こしてきました。野党も、これまでにない団結と連携で安倍政権の暴走を止めるために奮闘しました。

しかし、安倍政権はこの国会内外の圧倒的な反対の声を無視し、ついに戦争法を施行しました。この過程で明らかになったことは、国の最高法規である日本国憲法を否定し、じゅうりんしてやまない安倍

政権のファシヨ的政治に通じる極めて危険な姿です。

改憲の新手 ―緊急事態条項

安倍首相は再三、来たる7月の参議院選挙で改憲勢力が3分の2以上の議席を確保し、在任中に明文改憲に着手することを明言してきました。そのための消費税増税や戦争法の発動の先送り、沖縄辺野古新基地建設の一時中断などで乗り切りを図っています。改憲勢力が仮に衆参両院で3分の2以上の議席となれば、今や憲法9条の解釈改憲から明文改憲へと待ったなしの状況が生まれます。

しかし、国民は安易な改憲を望まず、憲法は日々の生活に根付いています。そのため、安倍内閣は憲法9条の全面的な改悪のための突破口として、「お試し改憲」として「非常事態条項」をあげています。安

倍政権は国外に敵をつくり、国内では東日本大震災の惨禍を踏み台に利用し、緊急事態条項の必要性を国民に刷り込んできました。この条項は国民の基本的な人権を縛り、首相と政権与党に独裁的権力を委ねるものです。非常事態条項での改憲は憲法3原則を踏みしめるもので、断じて許せません。

立憲主義を守る ―参議院共同選挙へ

安倍政権の逆走を今こそ止めましょう。立憲主義、民主主義のために野党は参議院選挙で3分の1以上の議席の確保が必要です。これまで全国各地の運動の中から「共同選挙」を求める声が沸騰しています。共同選挙・共同候補者の擁立に向けて各選挙区で急ピッチの調整が進んでいます。

この動きを加速させると同時に、自公両党、おおさか維新の会などの改憲候補者を叩き落としましょう。

全国2000万人署名運動と違憲訴訟の闘いを成功させましょう。

安倍政権の格差と貧困政策にあえぐすべての人びとが手を結び、安倍政権打倒に向けて巨大なうねりを創り出しましょう。



東京五輪を照準にするアベ政治

原発事故もなかったことに

が故郷や業(なりわい)を奪われ、家族が

族がちり散りに生きています。来年、再来年には年間20ミリシーベルトの汚染の地へ、とにかく帰そうとしています。東京五輪の前に、フクシマのことなどなかったことのようにというのが安倍政権のやり方です」

被害者に生きる権利!

安倍政権はあらゆる政策の照準を2020年の東京五輪にピタリ定めています。アベノミクス新3本の矢の柱、「GDP600兆円」達成の時期も2020年。そして、海外から観光客が押し寄せるその時までに、東電福島第一原発事故はなかったことにして原発再稼働に突き進んでいます。それは「ないよ!」原発事故から5年がたつ3月、原発のない未来をめざし、全国各地で集会・デモが行われました。

放射能のなかへ帰れ!

3月26日、東京・代々木公園で開かれた「ノーニユークス」大集会で政府・東電の事故の責任を追及する福島原発告訴団の佐藤和良副代表が訴えました。「福島の現地では未だに10万余の人たち

政府は来年3月末で避難指示区域外避難者(自主避難者)の住宅補償の打ち切りを決めました。また、18年3月末で居住制限区域と避難指示解除準備区域の避難指示解除と賠償の打ち切りも決めました。そのために、年間被ばく線量1ミリシーベルトを20ミリシーベルトに引き上げて帰還を強要しています。5年間に子どもの甲状腺がん・疑いが166人に増えました。しかし、県民の健康を調査する検討委員会は、がんの原因を放射線の影響とは認めていません。また、事故現場の作業員の被ばく線量の限度を100ミリシーベルトから250

ミリシーベルトに引き上げ、作業員を収束作業に駆り出しています。

「私たちには被ばくを避けて生きる権利はないのか。福島を切り捨て、県民の棄民化、東日本の汚染をなきものにしようとする安倍政権の原子力推進政策は断じて許せない」

作家・澤地久枝さんの

呼びかけ(要旨)

5年前、私は日本に世直しの時がきたことを実感しました。しかし、直らなかつた、それどころかもと悪くなりました。原発事故は先祖代々の思いと生活があった故郷を奪いました。政治がその責任をとっていれば癒されたのに、安倍さんは世界に原発を輸出しています。オリンピック招致へアンダーコントロールと大嘘をつきました。そのひどさにあきれます。

安倍さんは、閣議で戦争法の施行を決めました。一般庶民のことは何も考えていません。いちばん大事なことは「命」と「志」です。戦争で血が流れるという暗雲の下、1人でも反対の意見を持つて声をあげましょう。日本が戦争する国になることに、私は絶対反対です。

